

水道・病院事業会計3年度決算

3年度の水道及び病院事業会計の決算認定が今定例会に提出され、次回定例会まで企業会計決算特別委員会で審査されることになりました。収支決算の概要は次のとおりです。

水道事業会計の収支決算の概要

◇収益的収支

収 入	9億9,851万4,282円
支 出	9億3,989万8,154円
差 引 額	5,861万6,128円

◇資本的収支

収 入	4億6,571万9,320円
支 出	6億3,228万2,276円
差 引 額	△1億6,656万2,956円

病院事業会計の収支決算の概要

◇収益的収支

収 入	66億3,161万5,322円
支 出	67億9,907万4,524円
差 引 額	△1億6,745万9,202円

◇資本的収支

収 入	3,381万0,300円
支 出	2億0,419万2,901円
差 引 額	△1億7,038万2,601円

※決算額はいずれも消費税込み。資本的収支の不足額は、損益勘定留保資金や当年度分消費税資本的収支調整額で補てんしました。

▽道路新設改良費 二億一〇〇万円

▽湯夢湯夢の里管理費 三、四二四万円

事業が予定通り進めば、隣接する大館工業団地と二井田工業団地（事業主体・市）を合わせた三団地の面積は、県内最大規模となります。

四・九で計画されています。事業主体は県、事務手続きは市が窓口となって進めていきます。平成三年度には、県が地質調査と予備設計を行いました。これを受けて、市では七月一日に造成事業化準備室を設置し、地権者説明会を実施しています。本年度は、測量のほか工業用水源地調査も行い、平成七年度から造成に着手する計画です。

名誉市民条例を制定

「大館市名誉市民条例案」が可決されました。この条例は、郷土の誇りとして市民の尊敬を集める人を顕彰するもので、県内の市では、能代市、湯沢市、男鹿市、本荘市に次いで五番目の制定となります。

対象は、市民が市に縁故が深く、公共の福祉増進や学術技芸の進展に寄与し、広く社会文化の興隆に貢献し、郷土の誇りとして市民の尊敬の的と仰がれる人です。選考は、市長の諮問に依りて十人以上で構成する名誉市民選考委員会で審議、答申し、決定は市長が議会の同意を得て行います。名誉市民には①



新設中のパッケージセンター

パッケージセンター
使用料が決まる

「大館市公設総合地方卸売市場条例の一部を改正する条例案」

市が行う重要な式典への招待②功労一時金五十万円の支給③その他市長が必要と認める待遇などの恩典が与えられます。

が可決されました。これにより、新設中のパッケージセンターと増設中の冷蔵庫の使用料が決まりました。

パッケージセンターは広さ二百八平方メートル。品物をその場で小分けして袋詰めするための施設で、使用料は一平方メートルにつき月額二百二十六円になります。また冷蔵庫の使用料は一平方メートルあたり月額五百十五円となり、いずれも十一月一日から適用されます。

ペット霊園の施設を広く開放

「大館市ペット霊園に関する

条例の一部を改正する条例案」が可決されました。

ペット霊園施設は、これまで市民に限って利用が認められていました。しかし、他市町村から利用の要望があり、施設の能力に余裕があるので、十月一日から市民以外の人にも開放することにしたものです。

監査委員会委員

渡辺喜一郎氏を選任

監査委員会委員である佐藤善悦氏の任期満了に伴う後任人事案件が提出され渡辺喜一郎氏（十二所字上城、六十四歳）が選任されました。

石川芳男 元市長が逝去

ご冥福をお祈りします



元大館市長の石川芳男氏（いしかわ・よしお）が九月十五日に逝去されました。

石川氏は、昭和四十二年の市長選で初当選、五十四年までの

三期十二年間にわたって市長を務めました。

この間、花矢町との合併、御成町の火災復興、市立総合病院の財政再建と改築、市民保養所の峠の家や市民の森の開設、大文字焼きと万人踊りの実現、公設卸売市場の開設など、今日の大館市の基礎づくりに尽力されました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。